

車上ねらい被害にあわないために

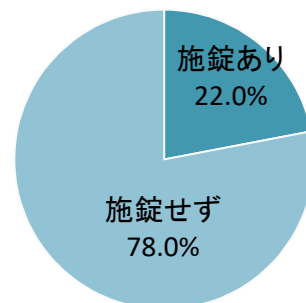
群馬県内の車上ねらい被害は、令和4年中に450件発生しています。そのうち、78.0%がドアの鍵を掛けずに被害にあっています。

また、住宅での被害も全体の40.2%を占め、その約3割が施錠していたにもかかわらず被害にあっており、他の防犯対策も併せて行う必要があります。

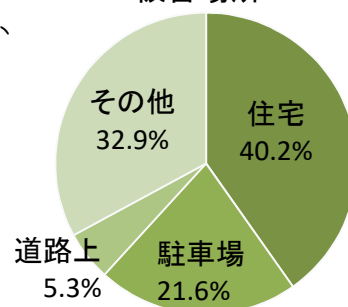
被害品はバッグ・財布類が多く、運転免許証等の身分証明書、キャッシュカード等のカード類が被害にあっています。中には、衣類が被害にあうこともあります。

短時間でも貴重品を置いたままにしないこと、必ず鍵を掛けることが大切です。

施錠の状況



被害場所



注意するポイント

- バッグ類は、車内に絶対に置かないようにしましょう。
泥棒がバッグを盗む時間は、わずか数分です。ちょっとした買い物でもバッグは持って行きましょう。
- 貴重品や現金は車内に置かないようにしましょう。
- 車から離れるときは、短い時間でもドアの鍵をかけましょう。
ちょっとした油断から被害にあっている方が多数います。
自宅に駐車する際も施錠をしましょう。
- 窓は確実に閉めましょう。
窓ガラスの隙間から工具などを差し入れて鍵を開ける泥棒もいます。
- スペアキーは車に付けないようにしましょう。
車に付けてあるスペアキーを利用する泥棒もいます。
- 夜間は明るい場所に駐車しましょう。
- 駐車場にセンサーライト等を付けましょう。
- 路上駐車はやめましょう。
- 盗難防止警報装置等を車に付けましょう。



車上ねらいで割られた窓ガラス